

仏教版画の群像

— 如来・菩薩・羅漢 —

場所 神戸女子大学古典芸能研究センター展示室
期間 二〇一八年十一月一二日(月)〜
十二月二七日(木)

時間 土・日・祝日休室
午前一〇時〜午後五時

古典芸能研究センター所蔵の志水文庫には、様々なジャンルの写本、板本、洋装本のほかに、300点を超える神道版画・仏教版画があります。センターに寄贈される以前の平成20年、奈良県立美術館では志水文庫の版画を使って、「庶民の祈り 志水文庫 江戸時代の仏教・神道版画」という展覧会が開催されています。センターではこれまでに、志水文庫の版画の中から涅槃図や来迎図を取り上げた展示を数回行ってきましたが、今回は、仏教版画に描かれた“群像”に着目した展示を行います。前半は、五百羅漢図、来迎図、四国八十八所の本尊を一面に描いた図、釈迦の入滅に集まった神・仏・

人・動物を描いた涅槃図、京都の三十三間堂の千体千手観音像の図などを展示します。後半は、阿弥陀如来の世界を描いた当麻曼荼羅をはじめ、様々な曼荼羅図を展示します。特に墨摺筆彩大判の当麻曼荼羅(近世初期)は、寛永9年に袋中によって作られ、現在も檀王法林寺に所蔵されている版木を摺って彩色したもので、志水文庫の仏教版画の中でも逸品とよんでよいものです。版画とはいえ、群像として描かれる仏や人はそれぞれ姿や表情が異なって生き生きと描かれています。是非、細部までじっくりとご覧になり、その姿をお楽しみ下さい。

仏教版画の群像—如来・菩薩・羅漢— 展示一覧

- 1 釈迦三尊五百羅漢像 一幅 紙本墨摺筆彩 江戸中期 57.5 × 26.3
- 2 所尊及び五百羅漢像 一幅 紙本墨摺 江戸中期 67.6 × 48.5
- 3 永平寺出現十六羅漢像 一幅 紙本墨摺 江戸後期 66.0 × 27.8
- 4 六字名号 一幅 紙本墨摺 幕末から明治 122 × 27.5
- 5 百重千重囀鏡之図 一幅 紙本墨摺彩色 明治37年 126.6 × 50.4
- 6 阿弥陀如来像摺仏 一枚 紙本墨摺 平安時代 44.0 × 25.0
- 7 大日如来像印仏 一枚 紙本墨印 平安時代 34.5 × 23.0
- 8 毘沙門天像印仏 一枚 紙本墨印 鎌倉時代 40.0 × 29.5
- 9 地藏菩薩像印仏 一枚 紙本墨印 鎌倉時代 14.0 × 37.8
- 10 不動明王像摺仏 一枚 紙本墨摺 南北朝から室町時代 24.0 × 7.3
- 11 四国八十八所本尊像 一幅 紙本墨摺 江戸中期 66.0 × 29.0
- 12 蓮華王院千手観音菩薩像 一幅 紙本墨摺 文政12年 37.8 × 20.2
- 13 護持念仏行者図 一幅 紙本墨摺筆彩 享保元年(識語) 47.0 × 29.6
- 14 十三仏像 一幅 紙本墨摺 江戸中期 54.0 × 24.3
- 15 釈迦涅槃図 一幅 紙本墨摺筆彩 江戸前期 102.2 × 57.7
- 16 釈迦涅槃図 一幅 紙本墨摺筆彩 江戸初期カ 54.0 × 35.5
- 17 阿弥陀聖衆來迎図 一幅 紙本墨摺 江戸中期 43.6 × 17.0
- 18 迎接曼荼羅 一枚 紙本墨摺 江戸中期 61.0 × 30.0
- 19 金光明曼荼羅 一幅 紙本墨摺筆彩 江戸中期から後期 73.5 × 27.0
- 20 繪曼荼羅御影 一幅 紙本墨摺 江戸中期 61.0 × 27.2
- 21 法華經變相図(法華經曼荼羅) 三幅 紙本墨摺 江戸後期 106.0 × 30.0
- 22 兜率天曼陀羅(都卒内院浄土之図) 一幅 紙本墨摺筆彩 天保5年彩色 69.0 × 51.5
- 23 仏説阿弥陀經變相 一幅 紙本墨摺 嘉永元年(版木) 149.8 × 61.6
- 24 三十番神像・当麻曼荼羅 紙本墨摺 江戸後期 49.5 × 41.5
- 25 当麻曼荼羅 一幅 紙本墨摺筆彩 江戸前期 76.0 × 69.5
- 26 当麻曼荼羅 一幅 紙本墨摺筆彩 安永三年識語 54 × 41.4
- 27 当麻曼荼羅 一幅 紙本墨摺 寛延二年識語 121.4 × 89.7
- 28 当麻曼荼羅 一幅 紙本墨摺 86.0 × 70.5
- 29 両界曼荼羅(金剛界) 一幅 紙本墨摺 寛文元年裏書 73.0 × 62.5
- 30 両界曼荼羅(胎蔵界) 一幅 紙本墨摺 寛文元年裏書 74.3 × 62.9